

農産物の抗酸化能評価

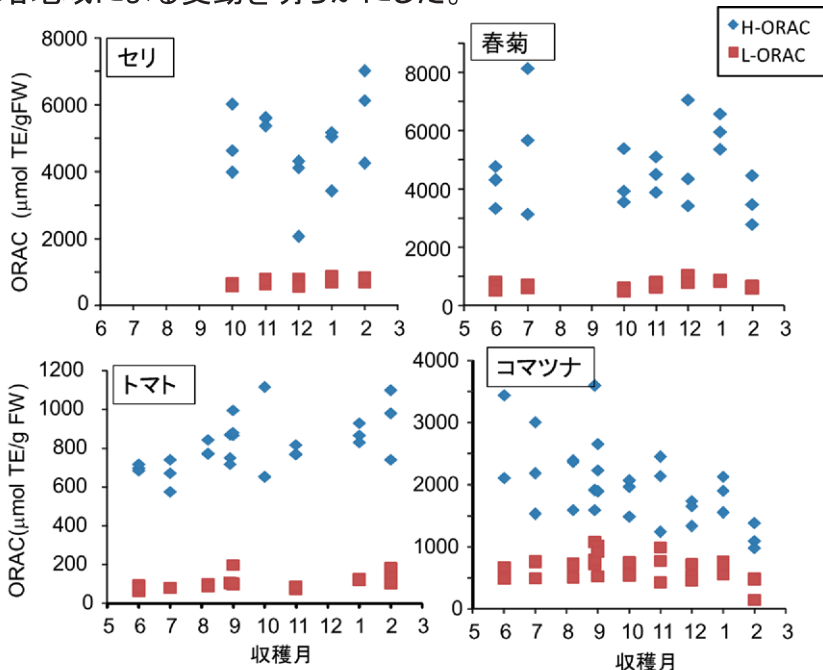
— 季節・地域による測定値の変動と抗酸化能の増強 —

技術の特徴

妥当性の確認された農産物・食品の抗酸化能(酸素ラジカル消去能:ORAC)評価法を用い、数種の野菜について抗酸化能を評価し、季節や栽培地域によって測定値が変動することを明らかにした。

研究の内容

- ・生体内酸化ストレスと生活習慣病をはじめとする様々な疾病との関連が明らかになっていることから、食事由来の抗酸化物質の摂取についても関心が高まっている。
- ・野菜・果実等の農産物は、ファイトケミカルと呼ばれる抗酸化能を有する物質を含む。
- ・そこで、農産物の高付加価値化を目的とし、ORAC法により抗酸化能を評価し、その季節や栽培地域による変動を明らかにした。



収穫時期・地域の異なる野菜の抗酸化能の変動

・産地・品種・収穫月により抗酸化能は大きく変動する

・品目により異なるが、おおむねH-ORAC値は、L-ORAC値に比べ変動の幅が大きい

今後の展開

- ・妥当性の確認された評価法を用いて、国産農産物の抗酸化能データを蓄積し、データベースとして公開する。
- ・品種や栽培条件の違いにより抗酸化能評価値がどのように変動するかを明らかにし、抗酸化能の高い品種の選定あるいは抗酸化能を高めるための栽培方法の確立を行う。

参 考

本研究は、農水省委託プロ「食料生産地域再生」により得られた成果である。